

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

CARMEN

TAKEMITSU: Signals from Heaven MOZART: Divertimento No.5 in C major, K. 187 (C17.12)

DVOŘÁK: Serenade for Winds in D minor, op. 44 SHCHEDRIN: Carmen Suite (after G. Bizet)

Thursday, 30 November, 2023 19:00 Suntory Hall

YNSO Popular Series No. 667

カルメンは、死なない。

鬼才カンブルランが、斬新なアイデアで挑む
知的で独創的なプログラム。

SYLVAIN Conductor CAMBRELING

音楽への深い愛を想像力豊かに表すフランスの鬼才
シルヴァン・カンブルラン (桂冠指揮者)

- 武満徹: シグナルズ・フロム・ヘヴン
- モーツァルト: ディヴェルティメント第5番 ハ長調 K.187 (C17.12)
- ドヴォルザーク: 管楽セレナード ニ短調 作品44
- シCHEDRIN: カルメン組曲 (ピゼーによる)

読売日本交響楽団 第667回 名曲シリーズ
2023 11/30 木 19:00 サントリーホール
S¥8,000 A¥7,000 B¥6,000 C¥4,500
読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
助成: 文芸文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

鬼才カンブルランの 遊び心と刺激に満ちた選曲

打楽器が活躍するカルメン組曲が鮮烈に響く！



11月30日は、欧州で数多くの斬新なチャレンジでクラシック音楽界に新たな価値観を吹き込んできた鬼才カンブルランが放つ独創的なプログラム。モーツァルト、武満徹、ドヴォルザーク、シCHEDリンという様々な地域と時代の作品が並んでいる。鍵となるのは、楽器編成だ。前半は主に木管楽器と金管楽器が舞台を彩る一方、後半のシCHEDリンの「カルメン組曲」は、弦楽器と打楽器のみで演奏される作品だ。“オーケストラ”という一つのメディアを新たな視点で見つめ、その更なる可能性を演奏家と聴き手が一緒に追求するような、カンブルランらしい冒険心に満ちた一夜になるだろう。

コンサートの冒頭は、金管楽器(ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ)による武満徹の「シグナルズ・フロム・ヘヴン」2曲の間に、“伝”モーツァルトのディヴェルティメントK.187を挟むように演奏する。近年ではモーツァルト本人の作品ではないとの説が有力であるが、フルートとトランペット、ティンパニというユニークな編成による作品。カンブルランの機知に富んだアイデアが、独特の静謐な音響空間を作るだろう。

その後に演奏するのは、木管楽器とチェロ、コントラバスによるドヴォルザークの管楽セレナード。ボヘミアの民俗的な舞曲を用いた華やかさと、孤独を感じさせる悲しさが入り混じった作品だ。通常、指揮者なしで演奏される機会が多いが、カンブルランのタクトは読響メンバーを鮮やかに統率し、細かなニュアンスに富んだカラフルかつ深遠な響きを築きあげる。

後半には、弦楽器と4群の打楽器によるシCHEDリンの「カルメン組曲」を演奏する。ロシアの名バレリーナのマイヤ・プリセツカヤが、ビゼーの有名なカルメンの音楽を用いたバレエ曲を夫の作曲家シCHEDリンに依頼し、完成した。シCHEDリンは現代的な感覚で、「カルメン」の音楽にユーモアに富んだ特徴的なスパイスを効かせている。まるで協奏曲のように打楽器が活躍するのも聴きどころだ。カンブルランの冴えたセンスで、遊び心とシリアスなドラマが絶妙に絡み合い、刺激的な演奏になるだろう。



シルヴァン・カンブルラン 桂冠指揮者

色彩豊かな音楽作りで、読響を世界のトップレベルへと導いた名匠。クラシック音楽界の既存の概念にとらわれず、常に柔軟かつ斬新な発想で数多くのプロジェクトを成功へと導いている。1948年フランス・アミアン生まれ。2010年から9年間、読響常任指揮者を務め、古典から現代まで幅広いレパートリーを演奏し、高い評価を得た。19年4月から桂冠指揮者の任にある。バーデンバーデン&フライブルクSWR響の首席指揮者、ベルギー王立モネ歌劇場、フランクフルト歌劇場、シュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督などを歴任。現在、ハンブルク響の首席指揮者、クラングフォルム・ウィーンの名誉首席客演指揮者を務めている。読響とは17年11月にはメシアン「アッシジの聖フランチェスコ」でサントリー音楽賞などを受賞。22年10月には一柳慧作品の世界初演やヴァレーズ「アルカナ」などの演奏で、文化庁芸術祭大賞に輝いた。

読売日本交響楽団 第667回 名曲シリーズ

2023年 11月30日(木) 19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥8,000 / A ¥7,000 / B ¥6,000 / C ¥4,500

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

読響ホームページ <https://yomikyo.or.jp/>